

令和5年度事業報告書		事業所名	デイサービスセンターしおかぜ下津井	作成者	中島 政宏	作成日	R6.4.30
目標	本年テーマ	(計画) 転倒しない生活の実現					
		(評価) 何事も転倒予防につながるという意識を持っていただくことは出来た					
基本処遇及び運営	■令和5年度処遇及び運営方針に対する評価						
	(計画)						
	①体幹の強化メニューの実施 (体幹を意識したマシントレーニングの実施)						
	②個々の生活ニーズに即した重点メニューの実施						
	③自宅生活の中でもできる簡単なプログラム・脳トレメニューの提供 (各種体操の中で自宅でできるやり方の情報提供)						
	(評価)						
	①マシントレーニングの際にしっかりと声掛けを行っていくように指導していたがなかなか出来ていなかった						
	②個別機能訓練を行うことを前提としていたが後半まで人員的に対応できないことが多かった						
	③実際のトレーニングの中ではなく別途機会を作り自宅で出来るちょっとした体操をスタッフ全員で取り組めた						
研修・セミナー	■職員研修計画と実績						
		研修名称	参加実績	研修名称	参加実績		
		安全運転管理者講習	清水	法令順守・倫理	全員(内部研修)		
		感染症研修	金田+内部研修	虐待防止	全員(内部研修)		
会議・委員会・内部研修	■会議・委員会計画実績・効果						
		会議委員会名	実績・効果	会議委員会名	実績・効果		
		安全衛生委員会	健康面での周知徹底を委員を通じ対応、主催研修は参加できず	運動メニュー(体操メニュー)	ちよこつと体操など新たな取り組みを開始、好評		
		地域支援委員会	参加者なし	レクリエーション(脳トレ)	新メニューで個別・集団での取り組み、積極的利用増		
		デイ会議	定期的実施し新メニューや業務改善に取り組みを行う	レクリエーション(行事)	今まで行っていない事や再開などで喜んでいただいている		
		虐待防止委員会	デイ会議の中で必要な取り組みの周知を行う	機能訓練(身体機能)	個別の訓練など期待されているものが人員的に厳しい状況		
		BCP対策委員会	感染拡大時職員の対応の再検討など実施	広報(インスタ・写真)	インスタ更新や新聞の発行など利用者以外へも周知		

防災・災害	■災害訓練計画・実績			
	訓練予定月	実施月	訓練目的	訓練評価
	11	11	昼間想定火災避難訓練	特養と同時実施し現実に即した対応を行った。避難時間も比較的短く利用者の参加も積極的に出来ていた
3	3	昼間想定地震火災避難訓練	地震想定にて対応などの説明も含め真剣に取り組まれる。地震への対応はなかなか出来ていないが避難自体は迅速に出来ていた	

■月別行事(下段)・内部研修報告(上段)	
月度	
4月	おやつバイキング 花見弁当
	倫理・法令順守勉強会 脳トレ検討会:新規ミニレクの実施
5月	おやつバイキング 栄養教室(夏)
	権利擁護と虐待,身体拘束勉強会 運動メニュー(体操)検討会 :プールでの運動内容追加
6月	おやつバイキング 歩行訓練にて外出・買い物(ファーマーズマーケット)
	認知症勉強会 レクリエーション(脳トレ)検討会:新メニューの実施
7月	おやつバイキング わたあめつくりをはじめとして時間に空きができた時のレクの検討・実施
	レクリエーション(8.9月行事)検討会 敬老の日週間の内容を検討
8月	おやつバイキング カキ氷(1週間:自力でトッピング)
	運動メニュー検討会(新マシンの利用者対応の方法についての検討)
9月	おやつバイキング 敬老食事メニュー(1週間)
	感染症勉強会
10月	おやつバイキング 秋祭り ハロウィン(こども園交流会)
	レクリエーション(12.1月行事)検討会 : 年末外出の計画
11月	紅葉狩り(デイ旅行) :津山方面 おやつバイキング 行楽弁当
	非常災害時対応勉強会 運動メニュー検討会
12月	おやつバイキング 焼き芋 歩行訓練にて外出・買い物(マルナカ)
	緊急時対応勉強会(BCP) レクリエーション(脳トレ)検討会
1月	おやつバイキング 栄養教室(冬) :実習生による勉強会 歩行訓練にて初詣外出
	認知症勉強会 運動メニュー(体操)検討会 :屋外歩行訓練の定期対応の検討
2月	おやつバイキング
	レクリエーション(4月行事)検討会
3月	おやつバイキング

(総評)
 スタッフのメンバー変更もあり前半積極的に活動を行うことが出来ませんでした。
 しかしその中でも運動については自宅で出来るような簡単なメニュー新たにを提供し、デイだけでなく利用者の生活の中で運動を定着させていくよう対応を行いました。脳トレメニューの数やカラオケルームの設置、筋肉と運動の効果についての解説掲示による運動・活動への意識向上を図っていくことが出来ました。空いた時間を楽しんで過ごせるようにコミュニケーションをとれるようスタッフ全員で意識していくなど、少しずつ1年をかけ実施できました。
 全体的に運動のみの雰囲気から楽しみながら活動を行う環境に変えていき、利用者様からは非常に喜ばれています。
 数値目標、1日36名を目標にしていたが、終了者に対し新規の獲得が進まず、年間平均30.68と大きく目標には届きませんでした。